



No. 6

2024年 9月17日 発行

JR東労組新幹線協議会

発行責任者 近藤 隆行

申1号 新幹線協議会「第6回定期委員会」発言等に基づく申し入れを行う!

JR東労組新幹線協議会は、7月21日に第6回定期委員会を開催しました。

昨年末に新幹線統括本部長名で「年末年始輸送完遂に向けて『チーム新幹線』の皆さんへ」が出され、「新幹線を止めない、遅らせない」「利益の最大限に向けて構造改革に取り組むと共に増収・コストダウンを続け、『稼ぐ』ことにこだわる」との掲示がされて以降、架線垂下や復旧にあたっていた作業員の感電事故、また郡山駅で新幹線が停車できず行き過ぎた事象など、命を脅かす事象が連続発生し、JR東労組は新幹線の安全に対して強い危機感があります。

その中で、組合員は常に変化する社会情勢に対応し、矢継ぎ早に進められる施策等に対して自らの成長を描きながら真摯に向き合っています。同時に安全を第一に質の高いサービス提供など努力しています。しかし、女性設備の改善やカスハラに対する問題意識など、働きやすい環境を求める声が相次ぎました。

したがって、安全と命を守ることを第一に、風通しの良い職場と、働きやすく魅力ある職場を構築するために、会社に申し入れを行いました。

1. 2024年3月6日に発生した121B列車郡山駅での大幅滑走以降の対策と効果を明らかにすること。また、今後のL編成単独運転における対策について明らかにすること。
2. カスタマーハラスメントに対する新幹線統括本部としての考え方と対策を明らかにすること。またフロー等を作成し組合員・社員に対し周知・教育を行うこと。
3. カスタマーハラスメント及びストーカー規制の観点から、新幹線車掌による指名放送を廃止すること。
4. 新幹線運転士による車内放送の実施は運転士の判断とすること。
5. 盛岡新幹線車両センター青森派出所の仕業検査において、臨時作業が多発していることから作業内容に見合った作業ダイヤへと変更すること。
6. 傷害事故防止の観点から、運転室側開戸から降車する場合に使用する縄梯子の安全性を検証すること。
7. 女性社員が安心して働けるよう、女性設備の整備と改善を行なうこと。
 - ①昨年度の「JR東労組幹本申第2号」申し入れ団体交渉以降の整備状況と計画を明らかにすること。
 - ②盛岡新幹線車両センター浴室の水圧が弱いことから修繕を行なうこと。
 - ③今後も女性乗務員が増加することから、各職場の宿泊施設の増設を行なうこと。
 - ④仙台駅下りホーム盛岡方、越後湯沢駅上り下りホーム東京方、新潟駅上り下りホーム新一運方、それぞれの箇所のトイレを新設すること。

**安全と命を守るために、
働きやすい環境を目指して、職場の議論を積み重ねていこう!**